

サカタニ・友の会

2005年・第3号・Vol. 68

とんからりん

2005年3月8日・集・西・楽 (株) サカタニ

075-561-7974fax 075-561-6710

ファミリーマート・サカタニ京阪七条店・075-561-0162

ホームページ・URL <http://www.sosake.jp>

会員の皆さまに

次回・朝粥食べておシャベリ会

3月13日(日)8時30分スタート。

参加費 100円(茶粥) = 要予約

終了後 10時から、京都専売病院・

副院長榊田 出先生の「健康になる体操の話」

と題した講演会(入場無料定員 60名)を楽々ホールで開催します。

集・西・楽・(株)サカタニ・

集西楽サカタニ開店一周年に当たり原点を振り返る。

とんからりん原点

私の周りで有ったら

どうしょう。物が溢れる日本東京で、歯をくいし生活保護も受けず、飢え死んだ親子。大都会の人が溢れる池袋で死んだ親子の淋しい心情を察し泣けました。私共は当時も今もコンビニ営業をしていて、パン、弁当、おにぎり等マダ食べられるもの、賞味時間前でも定時間が来れば「ロス」として廃棄しています。

お客様が直ぐに食べずに置かれることを想定しての対応ですが、何時も勿体無いと思うのです。

豊島区池袋はデパートやコンビニ、スーパーが集中している場所、私共と同様に「ロス」として食べられるものを一方で捨て、もう一方では餓死する人が居るのです。

捨てる側にいる私は「罪深い事をしている」のだと自責の念を感じました。もしそのようなお方がいることが判り、その方が受取ってくださるなら、マダ賞味期限内の食べ物をお渡し出来るではないかと考えました。しかし、今のように世間一般

「他人のことを気に掛けない」風潮が広がっているままでは、その様な状態の人がいるのかどうか情報が入りません。そこで戦時中の隣組の歌を思い出し「とんからりん」と代えたのです。隣組そのものは、戦時協力目的で作られたものだったが、庶民は近所付き合い助け合いと親睦の組織の感覚だったと思ったので。

あれから 10年経った先日も僅か8円しか入っていない財布を残して餓死した家族が有ったと報道された。10年で日本はもっと悪くなっ

創刊から68号平7年5月「MyDo. 毎度」名の「友の会ニュース？」創刊以来10年数ヶ月今回で68号になりました。途中9年3月に「ある事件」の詳細を知り16号から「とんからりん」という名称に変更しました。

そのある事件とは平成8年5月に日本の首都東京豊島区で起こった親子餓死された悲しい話でした。母親は77歳、息子は病弱で寝たり起きたりで10年間外出もした事のない41歳。2人が餓死死体で発見されたのです。母親の日記には家計簿のように克明にお金の出入りが記入されていました。

収入は母親の月額42,825円の年金だけ、家賃が4万円でしたから、恐らく若い時代の蓄えで遣り繰りし、月額2人で25,000円の食費で生きてきたのでしょうか。亡くなる直前の日記に「最後の買い物をした。蒸しパンが200円コッペパン100円309円残されたお金は28円これが全財産です」と書かれていたのです。

国民健康保険料は減額措置を受けてはいましたがきちんと納めながら「お金が無いから診て貰えない」と記し、家賃も何時も前月に支払っていたようです。日記には「区役所に相談しても「わかって貰えない」とか「望んでいるような対応はされないだろう」のあきらめの記述もあったそうです。

たように思えてなりません。殺人、詐欺、誘拐、強盗、賄賂、横領、倒産、廃業閉店、働き盛り自殺、犯罪の若年化幼年化と高齢化は、警察も追いつけないほど全て増えているのでは有りませんか？

夜鍵をしなくても良かった犯罪の少ない日本はどこへ行ったのでしょうか。だまされても騙してはいけませんが多数派だった日本は、いや日本人は何処に行ったのでしょうか。きっとまだ善人が絶対的に多いと思うのですが。

私も「少し」老いましたがマダマダ役に立てると信じて『友の会』を広げたいと思うのです。されど一方では、もうシドイし止めようと思うこともあります。偶に町で会った友の会会員さんに「読んでるえ」のお声掛けに励まされて今後も原点を再確認してなお続けています。アホですなあ。

友の会会員さん数は最大時期の半数以下になっています。3月末が「更新時期」なんとか半数まで戻したいと努力中です。

集西楽サカタニも4月2日で開店一周年、少し明かりが見えてきたようです。どうかお知り合いご近所の方々に「友の会入会」をお誘い下さい。今色々な企画、計画を検討しています。商品品そろえも大幅に検討してよりよい店、地域にお役に立つ店を目指します。

トントン

とんからりんと友の会

ミンナ何時もの顔なじみ

おシャベリ笑って

お早うさん

朝のおかゆの湯気の中

13日のお粥は「茶粥」です。

予約してご来店を待っています。

ヨシイちゃんのヒトリゴト

東山七条の景観に 思う

京都パークホテル閉鎖後が心配

東山七条は東大路と七条通りがT字型で交差している地点である。東は太閤廟がある阿弥陀峰を背に智積院の正門と寺堀、妙法院の格式を表す白い筋堀と続く。北西角は博物館、明治時代の重文レンガ堀も有る。南西角は元閑院宮家大邸宅跡で、東大路と七条通を「白い筋堀」が囲んでいる。大通りの三叉路がこのような景観であるのは、京都でも希少価値だ。元閑院宮家の堀は、南海大地震で七条通沿いの西半分倒壊した。当時既に、宮邸ではなく、敗戦で米軍に接收され朝鮮戦争後に返還されるまでは「日赤」。後に血液センターやホテルが出来た。

その京都パークホテルが1月21日で閉鎖された。跡はアメリカ企業が買ったと聞く。私企業が投資するのだから、収益を見込むことは当然であろう。

第一回朝粥食べておしゃべり会

第1回 朝粥食べて、おしゃべり会 相談役ヨシイちゃんの心配をよそに、定刻の7時30分には何人かのお客様がお越しになった。衣斐米穀店様・赤尾漬物店様ご協賛の下、お粥も何とか間に合い、朝粥会は始まった。少ない人数では手持ち無沙汰になるかもしれないと用意したビデオは、その任を果たすことは無かった。男所帯の催しに不安に駆られた衣斐さんの奥様が、息子さん共々お手伝い第1回 朝粥食べて、おしゃべり会 相談役ヨシイちゃんの心配をよそに、定刻の7時30分には何人か

のお客様がお越しになった。衣斐

前ホテルの経営者は、景観に理解され「筋堀」も残し、営業姿勢は地域協調が出来ていた。

今回は、世界的な環境問題を議題に決議された「京都議定書」未だに「批准」していない唯我独尊の国アメリカ企業の手に入ったのだから、高が京都市や市民がどう思っても「聞く耳」はないのでは無かるうか。

景観は潰すのは、いと易いが、保存維持はその意思がないと難しいのでは。

ヒトリゴトの余談

○今回の「ヒトリゴト」は京都新聞「窓」欄に投書し「白壁の堀」との題で1月末に掲載された原稿です。ご覧になった方も有ると思いますが、掲載されたものは一部削除(二重下線分)や智積院を地積院と誤植が有りました。削除分は一番言いたかった部分なので原稿を発表しました。

買収はモルガン、スタンレーとか。大改修も近く始まるらしい？噂では「ハザマ」が元請？白壁護る勝手連でもつくりなるとどうなるかと心配する「ヨシイちゃん」であります。

米穀店様・赤尾漬物店様ご協賛の下、お粥も何とか間に合い、朝粥会は始まった。

少ない人数では手持ち無沙汰になるかもしれないと用意したビデオは、その任を果たすことは無かった。

男所帯の催しに不安に駆られた衣斐さんの奥様が、息子さん共々お手伝いに大活躍。

さすがと口をあけている間にもお客様がどんどんお越しになる。あれよあれよという間に参加者は増え続け、最終的には予想を大きく上回る36人。あっちこちでおしゃべりの輪が広がりにぎやかな様相。おいしいおいしいと何度もお代わりをする人も出て、盛況のうちに9:30分になった。

まさしく案ずるより生むがやす

し、捨てる神あれば拾う神ありといろんなことわざが脳裏を巡った。

ナゾナゾ正解！

ヒトリゴトによく登場する、我がゴットばあさんの言葉からのヨシロウや、
働くと言うことはな、
の問題は「ハタラクニスルコトヤ」が正解でした。
2月13日(朝粥の日)締切りでしたが回答を寄せられた方は、お1人しかも正解でした。正解賞をお届けしました。
ナントも淋しい「ナゾナゾ」でした。
もうヤメやと思いつつ懲りずに下記に出題です。

ナゾナゾ？ 2？

奥の細道で有名な松尾芭蕉さん「我ときて遊べや親のない雀」の小林一茶さん「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」の正岡子規さんが、あの世で「鼎談」していました。夫々自分が生きていた時代はそれなりに評判が良かったし、尊敬もされたが、最近の日本では3人纏めて評判が悪くなったとボヤクことしきり。
さて何故でしょう
今回は「ノーヒント」
判るかなあ、判ないだろう！！
FAX561-6710・メール・持参も可
一名様に豪華？賞品進呈・
3月20日限り

アンケートも皆さん丁寧にご記入。その結果、今日の朝粥会が楽しかったこと、次回も参加する、お手伝いもさせていただくとのお答えが多かったことは、主催者としてとても勇気付けられた。このような声に支えられ、朝粥会の回数が増えていくこと、参加者が増えていくこと、そして何より皆さんの笑顔に出会えることが大いに楽しみだ。そしてやって良かったと毎回思えるようになりたい(追)第2回は更に多数の参加者有り感謝！

**蔵見学と
ヨットハーバーで新年
会**

2月の寒い時期にもかかわらず、今年最初の西塾の催し「蔵見学とヨットハーバーでの新年会」が開催され、15人が参加された。
9時、レークウエスト・ヨットクラブ差し回しのマイクロバスがサカタ二前に到着。伏見・松本酒造様へと向かう。大手筋と東高瀬川交差するところにその蔵はどっしりと構えていた。寺を思わずその屋敷に案内され、一同その佇まいにびっくり。蔵元の奥様自らお茶のご接待。丹精に手入れされたお庭を拝見。蔵元専務様の丁寧な説明に聞き入る。酒蔵2Fに有るホールにて、酒造りの講義を受ける。その後、蔵見学。仕込みの時期で、蔵全体にいい香りが漂う。百聞は一見にしかず、酒造

りの苦勞を垣間見る。
11時、松本酒造様を後に、滋賀県堅田にある「レークウエスト・ヨットクラブ」へと向かう。大岩街道～五条バイパス～西大津バイパス經由1時間ほどで、目的地に到着。そこは空兵衛造船所(琵琶湖に就航しているピアンカやミシガンを建造した造船所)の横にある。ちょうど定期検査の為にミシガンが乾ドックに入っていた。その大きな船体を横目に琵琶湖岸に係留されているお座敷船「舟奉行」へと向かった。「舟奉行」は船が通る度にちょっと揺れはしたが、それも船酔いとはほど遠い揺れで、ちょっとおつなもの。松本酒造様で頂戴した「日出盛」のり搾りたてのお酒と純米酒で、まずは乾杯。おいしいお酒と地鶏の水炊きを頂戴する。お酒の酔いも回り話が弾む。「こんなところでの宴会ははじめてや」「また何かの折に使わせてもらう」とお気に入りの様子。カラオケで自慢ののどを披露する

人が何人か出たが、参加者の一人・宮原さんが蔵を見たときにその歌を思い出したと、さだまさしの「かかし」をアカペラで熱唱。一同脱帽状態。やっぱりうまい。余韻に浸りながら、おいしいお酒とおいしい料理、愉快的な仲間の宴会は幕を閉じた。席を移し、クラブハウス2階に有る喫茶ルームでコーヒーを頂戴する。琵琶湖が一望できるそのスペースでゆったりくつろぎ、その後再びマイクロバスに乗車、岐路に向かった。外はとても寒い1日だったが、参加者の皆さんの心はずいぶん暖かくなったと思える一日だった。

**中年女性大フィーバー
『J-MAC'65』
ラストライブ**

満員御礼・立錐の余地の無いほどの大入り。それも大多数が中年女性。ベンチャーズの「10番街の殺人」でスタートしたJ-MAC'65ライブ。リーダーでリードギターの神田さんの東京転勤により、このメンバーでの最後のライブ。
それを惜しむかのように大勢の人が駆けつけた。このバンドが素人でありながらこのように多くの人に愛されているとは、バンド関係者もこの日まで知らなかった。
ベンチャーズサウンド・J-POP・Dr.K サウンドなど50歳代60歳代の人が喜びそうな曲20数曲を演奏。2部に入ると大勢の女性たちが、日頃の鬱憤を晴らすかのように踊り狂う。その姿に男性人は唖然とするばかり。女性のたくましさ、生命力にただただ呆然とするのみ。ヤマハポップコン入賞やNHKのど自慢で優勝したという実力の持ち主のボーカルに聞きほれる。最後はこのバンドの売りのひとつ、ドラムソロ(ドラム奏者はケーキ屋さんのオーナーシェフ)があるジャズの名曲「キャラバン」でそのライブは終わった。満足げに家路に向かう中年女性たちに、これからの日本の姿を観た。女性に学ぶべきことが多いことを悟らせるライブでもあった。

お知らせ 3月4日の「仕事」

橋本のりえ・水彩画展
ベトナムの人物と風景画
～3月11日

佐竹保雄・SL写真展
おじいちゃんの
SLアルバム出版記念
3月12日～4月10日
時・10時30分 21時まで
鑑賞無料・アルバム本販売
○集re 喫茶ルーム

DIME コンサート例会
・3月20日・12時～17時
楽々ホール・貸切
入場はDIME会員様限定

音の風 音楽会
日・3月27日(日)
時間 19時30分～
会費・500円
1ドリンク付
○集re 喫茶ルーム

朝粥食べて、おしゃべり会
3月13日、27日(日)開催
(必ずご予約下さい)
朝8時30分～9時30分
会費 100円○赤尾屋漬物店
衣掛(いび米店)ご協力
3月13日10時から
京都専売病院・副院長
梶田 出 先生の講演

集西楽サカタ二開店一周年
4月1日～4月3日
ワン・ツー・スリーセール!
懐かしい特売・実施
こころ坂・楽々落語会
4月1日・午後6時半開場
桂二乗・月亭八天・桂米二
前売券 1500・当日 1800円
駅伝ライブ 4月2日
音楽グループ15組のライブ
スマトラ沖地震救援基金に
ご協力ください!!
主催。駅伝ライブ実行委員会

地図カンバン物語

この町の形成に関わった秀吉公を祀る
**第6話・豊国神社と
方広寺 その**

前号は直前に「輝ける133年の歩み・貞教」という閉校記念誌が配られてきたので、学校・学区と私たちと豊国神社に関わりを書いた。

「豊国神社」は慶長13年(1598)8月18日「露と落ち露と消えにしわが身かな浪速のことも夢のまた夢」の辞世を残して伏見城で波乱に満ちた生涯を終えた「豊臣秀吉公」を祭神としている。元は秀吉公御遺骸が埋葬、阿弥陀ヶ峯に葬られ、その中腹に翌年朝廷から『豊国大明神』の神号と30万坪の境内を賜り『豊国社』が創建された。

毎年4月8月の祭礼には、勅使、北政所(ねね)や諸大名の参拝で賑わったといわれる。

慶長20年(1615)大坂夏の陣で豊臣家が滅亡すると、徳川家康により「廃祀」され、墓参に来る人を防ぐ為、新日吉神社を拡大したと言う説もある。以後跡形もない草原になっていた。

明治元年(1868)明治天皇のご沙汰で再興が決まり、明治6年別格官幣社になり、13年「方向寺大仏殿」跡地に現在の社殿が造営された。

神社の「大唐門=国宝」は伏見城の遺構だと言う。境内には北政所を祀る「貞照神社」と「宝物館」がある。

「宝物館」は午前9時～午後4時頃まで入館出来るが有料。詳しくは075-561-1720にお問合わせを。

「方向寺」の由来は「釈迦華嚴説法方向之体相」によるもので、本尊は盧舎那佛坐像としている。天正14年(1585)に豊臣秀吉公により創建された『大仏殿方向寺』は、高さ50米、前面82米、側面57米の大仏殿の中に漆塗り金箔彩色された19米の大仏像があったが慶長元年大地

年徳川家康が、豊臣秀頼公に秀吉の菩提にと再興を勧め、大坂城の黄金も使って、19米の金銅大佛をつくせた。又慶長16年、大梵鐘をも造



国宝
大唐門

らせ、音色をよくするため15%黄金を加え、三糸釜座「名古屋三昌」が完成させた。これらの費用で豊臣の軍資金が減少させたうえ、梵鐘に刻まれた銘文は清韓長老作で悪意はないと思われるが、以心宗伝(家康の知恵袋といわれた人物)等に故意に曲解を許し、銘文の中の「国家安康。君臣豊樂」を家康分断、豊臣を栄えると解釈させ大坂城攻略の口実にした。今も残る梵鐘の内側に[淀君]の姿らしきもの有りと言われる。現在の鐘楼は大正時代に作られたものである。天保14年寄進でつくられた木造半身の大仏は昭和48年火災で焼失して今は無い。

大仏殿の石垣は、は「前田の泣き石」と呼ばれている。大坂城の石垣同様、各大名の普請によるもので、京人夫権力者は常に巨大な建造物を自己の権威の表現としてつくるのは、ピラミッド時代から続いている。戦争は古今東西を問わず同じような手法が用いられる。「無い大量破壊兵器」が口実になり何万の人が死ぬ戦争が起り続いている現実もある。

人類は歴史の教訓から何を学んだのだろうか。悲惨な戦争の犠牲は教訓にさえならないのだろうか?



石垣と梵鐘

先生は何処へ?

酒谷佳子

卒業、入学シーズンになると、かつて教わった何人かの先生を思い出す。小学校の担任だった女の先生は『あのね帳』という交換ノートそれぞれの生徒と交換しておられ、私はそれに何ページも手紙を書き、先生が赤いペンで丁寧に書いてくださる返事を読むのが楽しみだった。それに飽き足らず童話や紙芝居を書いて持っていくと、いつも教室でみんなに読み上げてくださった。中学時代の国語の先生は図書室を自由に開放し、授業時間にたっぷり好きな本を読ませ、自由に書かせた詩をガリ版刷りの冊子にまとめたりして、一緒に手造りの詩集を創ったこともある。

高校時代の美術の先生は美術大学を受験する私のために、夏休みに毎日美術室でデッサンを教えて下さり、生活指導の先生は学校嫌いだっ

勧めて下さった。英語の先生からは映画の面白さを、大学の先生からはさまざまな文化

と自由な人生観を。考えてみると手のかかる生徒だった分だけ、先生との結び付きは深いものがあつた。

今もそういう先生はあちこちにいらっしやるはずだ。夜の街で大人の餌食にされる子を守ろうとする「夜回り先生」や、もと暴走族だった時に担任の先生に支えられ、自分も高校教師になって生徒たちを支えようとする「ヤンキー先生」が最前線で今の子どもたちの現状を訴えている。しかし、ひっきりなしにかかる助けを求める電話の応対と夜回りのせいで「夜回り先生」は病気になり、「ヤンキー先生」は講演と本の印税で稼いでいるからと非難され、教職を退かなければならなくなった。こういう先生が特別視され、追いやられる社会はどこかまちがっているのではないか。

「夜回り先生」が百人いれば百人の元へ駆けつけられ、「ヤンキー先生」が百人いれば百人の話に耳を貸すことが出来る。大人は一人一人が先生になり、子どもたちを救わなくては、いや、その前にそういう子どもたちを作りだしたのは誰かと自分に問いかけて欲しい。